

# 本校の概要

## 1 校区の概要

岩国市の中心部へ約1.6 km、柳井市の中心部へは約1.7 kmと両市のほぼ中間に位置している。山陽本線・国道188号による結びつきもあって、両市の近郊地域(ベッドタウン)的な性格が見られる。そのため、近年開発された団地が多数あり、核家族化が進んでいる。由宇地区の人口は1万人弱だが、スポーツ・文化施設が整っている。

## 2 学校の沿革

- |         |                            |
|---------|----------------------------|
| ・明治 6年  | 由宇小学として開校する                |
| ・明治 12年 | 各校舎を新築柏原を東校舎・横道を西教場と称する    |
| ・明治 17年 | 由宇小学校に改称                   |
| ・明治 20年 | 由宇尋常小学校と改称 本校内に由宇小学校簡易科を設置 |
| ・明治 22年 | 由宇町立由宇小学校に改称               |
| ・明治 26年 | 由宇尋常高等小学校と改称               |
| ・大正 2年  | 本校校舎を八幡山に移転改築              |
| ・昭和 16年 | 由宇町立由宇国民学校と改称              |
| ・昭和 22年 | 由宇町立由宇小学校と改称               |
| ・平成 18年 | 市町村合併により岩国市立由宇小学校となる       |

## 3 校風

江戸時代より、由宇川の治水工事や南沖地区の干拓事業等を通して培われてきた根気強さ、創意工夫の気風は、今も地域や本校に受け継がれている。

また、地域の教育に対する関心・熱意は極めて高く、学校教育・社会教育両面において大きな期待がかけられている。

教育目標にかかげる「瞳かがやく由宇小っ子の育成」の実現に向けて、学校・家庭・地域社会が緊密に連携し、職員が一丸となって教育活動を展開している。

## 4 児童の実態

本校は、特殊学級(3学級)を含めて15学級、児童数415名、県費負担教職員数24名(平成19年5月1日現在)の中規模校である。

児童は全体的に明るくて素直であり、好奇心や探求心も持ち合わせている。

しかし、核家族化・生活環境の変化により、基本的な生活習慣の欠如や状況に応じた言動、自主的・主体的な行動が苦手な傾向が見られるとともに、学習への関心や意欲面で指導上特別な配慮を必要とする児童も少なくない。

